

第31回V・ファーレン長崎支援会議事録及び要望・報告

V・ファーレン長崎支援会

会長：大山昇

日時：4月22日（火）19：00～21：00

場所：長崎市市民会館第3会議室

参加：菊次勉、竹村栄哉、後藤昭道（V・V長崎）、大山昇、藤原裕久（支援会運営委員）

一般参加7人 参加合計12人。

V・ファーレン長崎よりの報告

チームは現在好調な成績を収めており予想以上にやれている。また、練習場の確保など幾つか問題はありますがU-18も正式に活動を開始した。多くの意見をいただいたクラブの公式ホームページ改善は現在最終段階で手間取っている。大変申し訳ないが、もう少し時間がかかる事をご了承いただきたい。一方、集客についてガンバ大阪戦以外は苦戦をしている。熊本戦は集客面で多くの方が協力してくれ、アウェイのサポーターも1300人詰めかけた。札幌戦は5,000人には届かなかったが動員などは一切行っておらず、まだまだ不十分だが徐々に集客は上がっていると思う。今後も活動を継続して県民の期待に応えられるようにやっていきたい。（V・ファーレン長崎 菊次）

支援会よりの報告

・支援会新運営方式：今後の支援会は以下のように行う。

- 長崎市支部会：毎月末の月曜日に長崎市で開催。
- 諫早市支部会：偶数月前半の火曜日に諫早市で開催。
- 運営会議：奇数月の任意の日に任意の場所で開催。クラブ担当者と運営委員のみ参加し議題調整や打ち合わせを行う。

・支援会クラブ側担当者決定の報告：支援会の担当者を菊次勉、竹村栄哉、後藤昭道の三氏とする。

担当者が支援会に出席出来ない場合は事前に連絡を行う事と代理が出席する事とする。

・支援会新会長選任：大山昇氏を支援会新会長に選出する事とする。

・第8回支援会諫早支部会開催報告：以下の2点を活動中。

- ・諫早の商店街の要請を受けて緊急に試合告知チラシを作成し商店街で配布した事が報告された。
- ・諫早市の補助事業「諫早ビタミンプロジェクト」にV・ファーレンに関する企画を申請中との報告がなされた。

協議・質疑応答内容

・クラブ公式サイトでの支援会開催日程などのリリースについて

- 継続審議中。クラブ内の意見統一がまだ出来ていない。早く結論を出せるようにしたい。(V・ファーレン長崎 竹村)
- まずはフラッグ寄贈等のニュースと共に支援会情報を配信する事で対応したい。(V・ファーレン長崎 後藤)

・支援会の予算の使途について

- 最近、支援会の寄付金の集まりが悪く予算が若干減っている。(支援会 会計 下舞)
- 今後も色々な企画を行うので一先ず資金はプールしておくべきではないか？(一般参加者)

・長崎県総合運動公園陸上競技場（以下：スタジアム）の駐車場問題を解決するには？

- スタジアム改修前と違い、現在は厳しく公園法が適用されており、公園法ではどこか1団体が公園内の駐車場を占有出来ない。現状以上の駐車場を公園内に確保する事はクラブでは難しい。(V・ファーレン長崎 菊次)
- 試合当日に公園内には空駐車場があるのが実態で、県民の2週に1回の娯楽として特例を貰えるように支援会で働きかける事も検討したい。又、近隣の有料駐車場マップを作る事も検討したい。(支援会 藤原)

・スタジアム内のS席、A席のサービスが悪く、値段と釣りあわない。バックスタンド自由席のメリットが1番高い。

- 現在、メインスタンドでは非常に不満が高まっている。S席はバックスタンドの3倍弱、A席は2倍にも関わらずバックスタンドと同等がそれ以下のサービスでは来年、SやAからバックスタンドに移動する人が増える。それは売上でバックスタンド1~2人減るのと同様。(支援会 藤原)
- メインスタンドの厳しい意見はクラブにも寄せられ、クラブとしても認識している。(V・ファーレン長崎 菊次)
- 値段に見合ったサービスを提供出来ていないのはクラブの責任。今後改善を行いたい。(V・ファーレン長崎 後藤)

・バックスタンドの立ち見やゴール裏のチケット保持者がバックスタンドに座っているなど混乱が見られる。

- 今の状況は改善していくように努力していきたい。対応を行って行きたい。(V・ファーレン長崎 後藤)

・5月19日の長崎市開催に向けた取り組みは？

- 現在、席割りや駐車場、シャトルバスなどについて各所と最終調整を行っている。(V・ファーレン長崎 後藤)

・チラシ配布について

- サクセスパートナー（新大工・長崎駅前）ではチラシ配布を行わないのが不思議に感じる。(一般参加者)
- 遅れてチラシ配布を手伝いに行ったらクラブスタッフより「もう終わるので要りません」と言われた。(一般参加者)
- 大変申し訳ありません。クラブとしてしっかり対応していきたい。(V・ファーレン長崎 竹村)

・学生を対象にした割引チケットなどを行ってはどうか？

- 企業がチケットを買い取り寄贈する夢チケット等行っており、今後も検討していきたい。(V・ファーレン長崎 後藤)

・長崎市の原爆記念館などとタイアップしてはどうか？

- 今後、検討して行きたい。(V・ファーレン長崎 後藤)

第31回V・ファーレン長崎支援会からの要望・報告

第31回支援会からの要望と報告です。対応のご検討をお願い致します。次回支援会もしくは運営会議の際にご回答をお願いします。

・<報告> 宮城県伊里前商店街へのV・ファーレン長崎フラッグ寄贈について

要約：宮城県伊里前商店街にクラブのフラッグを寄贈するにあたり、クラブ・選手会の協力をお願いしました。

東日本大震災で被災した宮城県の伊里前商店街へV・ファーレンのフラッグを寄贈致します。寄贈するフラッグは2枚。V・ファーレン長崎支援会購入分と趣旨に賛同した諫早市役所サッカー部の協賛分です。フラッグの1枚にV・ファーレンの選手のサインやメッセージを書いてもらう事とし、クラブを通じて選手会に打診する事となりました。竹村栄哉氏にフラッグを預けております。

・<提案> 各市町村からのシャトルバス発着とシャトルバス定期販売についてのご提案

要約：各市町村からのシャトルバスの採算性を保障する為にシャトルバス定期販売制度の導入を提案しました。

諫早市以外からの市町村からスタジアムまで直行のシャトルバスを求める声が多い。採算性に不安があるのであれば、シャトルバスの料金を定期券のようにシーズン前にまとめて支払う方式の採用をご検討下さい。最初から収支の成り立つ枚数を販売出来れば乗車率が低くても採算性は確保出来るのではないのでしょうか？ また、定期の販売前に予約受付を行い、予約が一定に達しなかった場合は販売を取りやめればリスクは少ないのではないのでしょうか？

・<報告> スタジアム清掃活動について

要約：6月にスタジアム、及び周辺の清掃活動を行います。

スタジアムの清掃活動を6月に開催する事を検討しております。活動は大きく2つに分かれ、6月のホームゲーム来場者にゴミ袋を配布し、試合後に席周辺のゴミを回収してもらう「マナーアップ活動（仮）」と試合翌日のスタジアム、及びその周辺の清掃活動にサポーターが参加する「清掃活動」を行います。詳細はクラブと協議を行った上で決定します。また、本企画リーダーに福島美由紀を選出します。

・<報告> ホームゲーム来場者アンケートの実施について

要約：5月3日のホームゲームで来場者簡易アンケートを実施します。

J2 参入以来、現状の顧客データが存在しない（JFL 時と客層に変化が感じられる）為に過去に支援会で数回行った「簡易来場者アンケート」を5月3日のホームゲームで実施したいと思います。アンケートはこれまで同様に対面式で長崎県内を6地区に分け、男性には青いシール、女性には赤いシールを貼ってもらい集計します。詳細は別紙の「ホームゲーム来場者簡易アンケートにつきまして」をご参照下さい。

次回支援会日程

第32回支援会長崎支部会 5月27日（月）19：00～21：00 長崎市市民会館第5会議室

第9回支援会諫早部会 6月11日（火）19:30～21:30 諫早市社会福祉会館